

令和5年度岡山県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和4年度計画と同程度の規模で人材育成

実施状況 の分析

①就職率が高く、応募倍率が低い分野
(R3実績に該当する訓練分野)
「介護・医療・福祉」

- ・応募、受講しやすい募集、訓練日程の検討が必要。
- ・訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化。

②応募倍率が高く、就職率が低い分野
(R3実績に該当する訓練分野)
「営業・販売・事務」「デジタル」

- ・求人ニーズに即した訓練内容になっているか、就職支援策が十分か、検討が必要。
- ・「公共職業訓練の効果検証」の結果も踏まえた、ハローワークと連携した就職支援の強化が必要。

計画と実績 の乖離

③求職者支援訓練のうち基礎コースは
R3年度計画では認定規模の30%程度と
していたが、実績は1割

- ・就労経験が少ない者等の就職困難者には、社会人としての基礎的能力を付与する基礎コースが有効ではあるが、以前より求職者ニーズが低く開講に至らないコースが散見される。このため、実態を踏まえた計画数の策定が必要。

人材ニ ーズを踏ま えた設定

④デジタル人材が質・量とも不足（デジ
タル田園都市国家構想基本方針）

- ・職業訓練のデジタル分野への重点化が必要。
- ・訓練実施機関の確保が必要。

⑤協議会で情報提供された人材ニーズ

- ・協議会でのご意見を踏まえ対応を検討。